

令和5年度 生徒による授業評価の結果について

1. 基準となる指標について

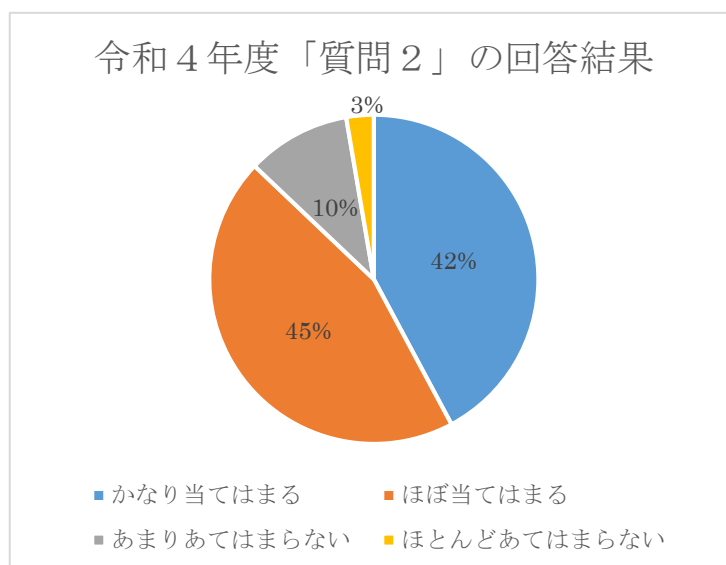
令和4年度と同じ指標を用い、「生徒による授業評価」のうち、質問2の「単元（内容のまとめり）の学習の中で、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会がある」と質問5「他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知るなど、自らの考えを広げ深めることができた」の2つの質問を対象とした。指標については、回答のうち、「かなり当てはまる」と「ほぼ当てはまる」の肯定的な回答と「ほとんどあてはまらない」と「あまりあてはまらない」の否定的な回答をした生徒の変化をみた。

2. 質問2の指標結果の年度比較

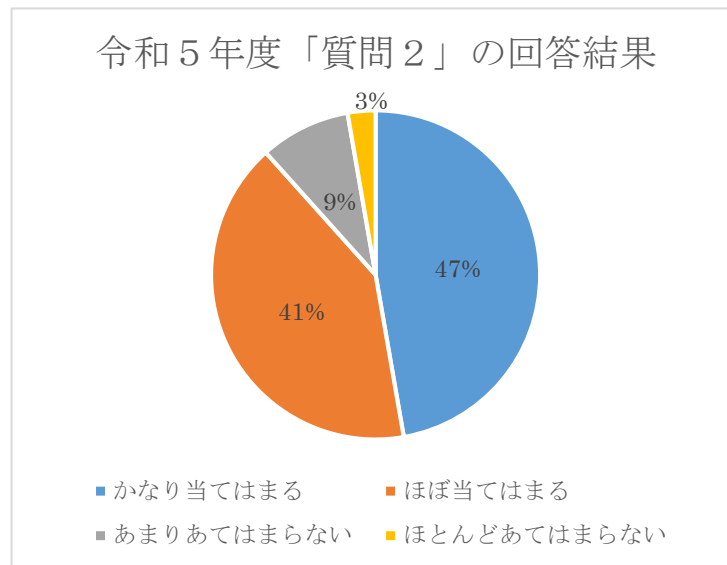
令和4年度は「かなり当てはまる」が42.2%、「ほぼ当てはまる」が44.9%で、肯定的な回答の計は87.1%。「ほとんどあてはまらない」が10.2%、「あまりあてはまらない」が2.7%で、否定的な回答の計は12.9%であった。

令和5年度は「かなり当てはまる」が47.3%、「ほぼ当てはまる」が41.1%で、肯定的な回答の計は88.4%。「ほとんどあてはまらない」が8.9%、「あまりあてはまらない」が2.7%で、否定的な回答の計は11.6%であった。

令和4年度と令和5年度の指標結果を比較すると、肯定的な回答が1.3ポイント増加した。また、令和3年度と令和5年度の比較でも、肯定的な回答が3.9ポイント増加している。



令和5年度「質問2」の回答結果



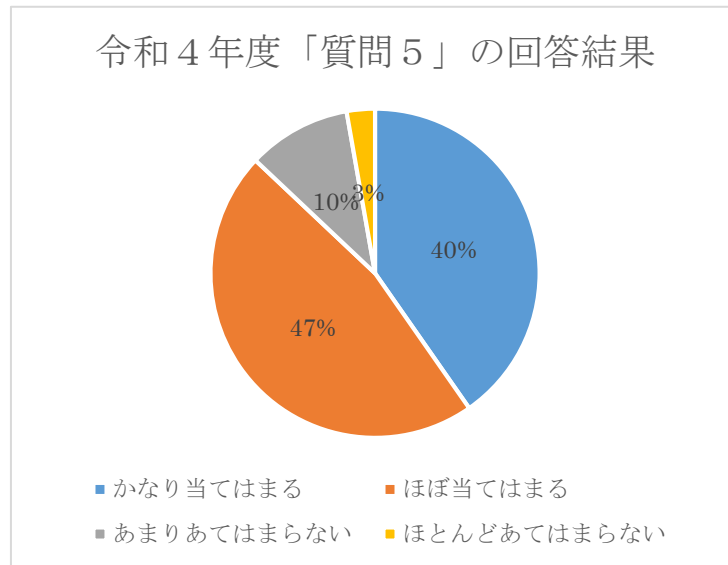
3. 質問5の指標結果の年度比較

令和4年度は「かなり当てはまる」が40.3%、「ほぼ当てはまる」が46.7%で、肯定的な回答の計は87.0%。「ほとんどあてはまらない」が10.2%、「あまりあてはまらない」が2.8%で、否定的な回答の計は13.0%であった。

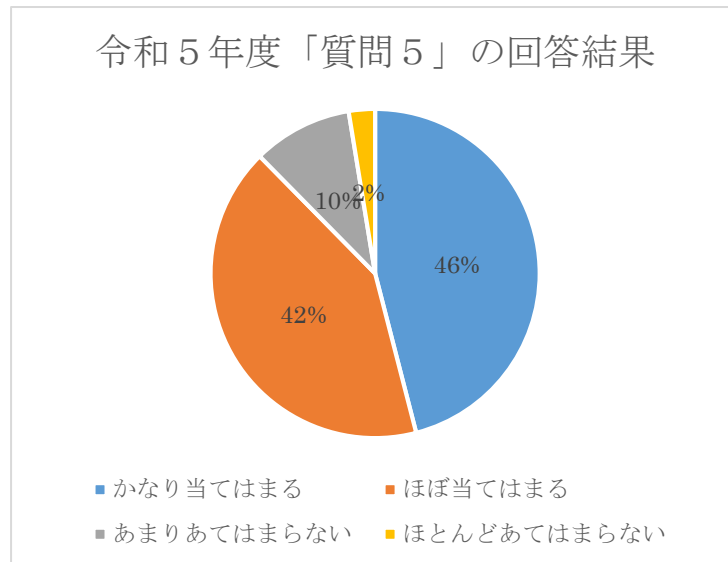
令和5年度は「かなり当てはまる」が46.0%、「ほぼ当てはまる」が41.6%で、肯定的な回答の計は87.6%。「ほとんどあてはまらない」が9.8%、「あまりあてはまらない」が2.6%で、否定的な回答の計は12.4%であった。

令和4年度と令和5年度の指標結果を比較すると、肯定的な回答がわずかながらではあるが、0.6ポイント増加した。また、令和3年度と令和5年度の比較では、肯定的な回答が3.0ポイント増加している。

令和4年度「質問5」の回答結果



令和5年度「質問5」の回答結果



4. 結果の分析について

質問2と質問5の令和4年度と令和5年度を比較すると、肯定的な回答が、どちらも約87%を越えており、改善幅も1.0ポイント前後増加している。

肯定的な回答が90%弱のため、大幅な改善はないが、多くの生徒が授業等の教育活動を通じて、「他者の考えを知ることで、自らの考えを広げ深めること」ができたことや、「他者の考えを知ることで、新たな考え方を知り、自らの考えを広げ深めること」ができたことを実感していると考察する。